

明治三十七年八月

鐵道車輛連結用器圖
解書在倫敦荒川總領事
提出之件

外務省

3-2279

0482

送第四一號

一〇九一

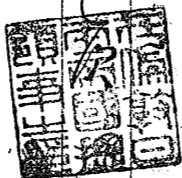
一 鐵道車輛連結用器ニ関スル件

當國ノ石炭株塲事業ハ廣ク以外ニ知ラレ又斯業ニ関スル諸機械等ノ發明進歩日ニ月ニ見ルキモノ多ク有之候必去月ヨリ斯業ニ関スル博覽會ヲ設ケシ其委員ヨリ一日本館ヲ招キ親數諸機械ニ就キ説明致シ候其由本邦ニ於テ試ニ度スルハ鐵道車輛連結用ニ供スルコウプリング (Coupling) ナリ從來其連結器不充分ノ為メ鐵道掛負ノ負傷スルモノ年々多數ニ上リ候趣ニテ、アリソン・スミス氏大ニ之ヲ憂ヘ一意專心其豫防法研究ニ各レ結果從來ノコウプリング及連鎖 (Chain) and Chain) ヲ廢シ本書附添書ニ示ス如キ自働連鎖器ヲ發明スニ至リタリト其使用法ヲ見致シ候處取扱上長簡易ニシテ又カヲ省キ且ツ危険ヲ豫防スルニ利便ナキラスト此方候ニ付右因解書迄ニ从壇出候即政府鐵道局ニ轉送相成度奉テ望候也

在倫敦日本總領事館

明治七年七月七日

在倫敦總領事 荒川



外務大臣 岩倉小波 村壽太郎 殿



明治七年八月十六日
外務省
16116

明治七年 八月 十六日 起草
同日 發遣

鐵道主任

通商局長

16
16

山内後首長

打村局長

鐵道部通商局長

外務省

鐵道車輛運送用器ニ関シテ

取立備前部子機部事

如左

一、右官官通商局長

打村局長

添付